

部課別掲載事業一覧

部名称	担当課名称	事業番号	事業名称	頁
生涯学習部	生涯学習課	092501	若者施策推進事業	1
		092502	若者会議提案事業	3
		092532	社会教育団体補助	5
		092534	文化振興一般事務	7
		092535	文化振興基金運用事業	9
		092536	はたちのつどい	11
		092539	青少年対策管理事務	13
		092540	青少年団体補助事業	15
		092542	人権教育推進事業	17
		092546	市民文化祭	19
		092547	放課後子ども教室推進事業	21
		092548	生涯学習推進事業	23
		092549	子ども・若者支援事業	25
		092601	社会体育管理事務	27
		092603	スポーツ指導普及事業	29
		092604	市民スポーツ活動推進事業	31
		092606	学校開放事業	33
		093502	きらめき創造館管理運営事業	35
		093521	野外活動振興事業	37
		093531	すばるホール管理運営事業	39
		093532	市民会館管理運営事業	41
		093604	スポーツ施設管理運営事業	43
		093605	市民プール管理運営事業	45
		094503	すばるホール整備事業	47
	094504	市民会館整備事業	49	
	094601	体育施設整備事業	51	
	文化財課	092511	文化財管理事業	53
		092512	埋蔵文化財調査事業	55
		092513	寺内町保存事業	57
		092514	歴史資料保存活用事業	59
		093536	文化財施設管理事業	61
		094512	寺内町整備事業	63
		094514	文化財施設整備事業	65
	中央公民館	092551	公民館運営審議会事務	67
		092553	金剛公民館事業	69
		092554	東公民館事業	71
093503		中央公民館事業	73	
中央図書館	092561	中央図書館事業	75	
	092562	図書館資料整備事業	77	
	092565	ブックスタート事業	79	
金剛図書館	093506	金剛図書館事業	81	
	094551	金剛図書館整備事業	83	

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092501	事業名称	若者施策推進事業
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 青少年対策費		(小事業) 若者施策推進事業

事業目的	次代を担う若者が地域活動の担い手として成長し、まちづくりに積極的に参画することを目的とする。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	1,075	1,632	
		決算	891			

事業概要	若者会議の開催を通して、若者が市政に興味を持ち、地域社会の未来を考えることで、地域活動における主体となる人材として育成することで、まちづくりへの積極的な参画を促進する。 また、若者会議からの提案施策について、積極的な市政反映に努める。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	若者会議からの提案施策数	→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績	4	8	12	16
成果指標2		→	単位	予定				
				実績	5			
			【 件 】	(令和8年度目標値 → 24 件)				
活動指標1	若者会議の延べ参画者数	→	単位	予定	20	40	60	80
				実績	25			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他) 富田林市若者条例に規定される若者会議の運営は、本市における少子高齢化や人口減少、コミュニティ意識の希薄化等に起因する、地域活動の担い手不足等により、若者が地域の課題解決やまちの魅力創出に抽選するなど、地域人材としての活躍が求められていることから、必要性は極めて高い。	新たな財源の検討	×:検討していない 特になし。
事業の委託可能性	×:委託できない(法的課題) 若者会議は条例に定める付属機関であり、会議開催に伴う事務等を外部に委託することはできない。	受益者負担の適正さ	一:該当しない 受益者負担の考え方には適さない事業。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	<p>令和4年度から、提案施策の議論をより深めてもらうため、全体会議の回数を増加した。 施策提案終了後に委員に対して実施した会議運営等に関するアンケートでは、会議開催回数は概ね適切であったとの回答があった。 施策に係る所属(関係課)の職員も積極的に会議に参加し、アドバイスを実施したことから、全体的に実現可能性の高い施策が完成したと考える。 反面、関係課職員が比較的早い段階でアドバイスを実施したことにより、若者の自由な発想にやや欠ける部分もあった。</p>
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>令和5年度も引き続き会議を運営する。 開催回数についても、前年度と同様に要望する。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092502	事業名称	若者会議提案事業
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 青少年対策費		(小事業) 若者施策推進事業

事業目的	若者が活躍できるまちづくりを推進するため、若者が富田林に必要な施策や取り組みについて検討し、市とともに実現を目指す。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	0	4,924		
	決算	0			

事業概要	若者会議の開催を通じて、若者が市政に興味を持ち、地域社会の未来を考えることで、地域活動における主体となる人材として育成することで、まちづくりへの積極的な参画を促進する。また、若者会議からの提案施策について、積極的に市政反映に努める。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	提案施策の実現件数	→	単位	予定	0	2	4	6
				実績	0			
				【 件 】 (令和8年度目標値 → 10 件)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【 】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	若者会議OB会の委員数	→	単位	予定	0	10	20	30
				実績	0			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性) 若者会議の提案施策について、若者条例において「必要に応じて施策の策定や財政上の措置を講ずる」と規定されている。従来の市民参加ワークショップと異なり、若者が市の職員と共に議論した施策が実現されることが成功体験となり、未来の地域を担う人材となることが期待されることから、事業の必要性は高い。	新たな 財源の検討	×:検討していない 特になし。
	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題) 提案事業の実施にあたり、専門性の高い事業者への委託は可能であるとする。ただし、単純に事業を実施するのではなく、提案した若者会議委員を中心とした若者の意向に出来る事業とするためには、仕様の設計や委託事業者の選定時に注意が必要である。		一:該当しない 受益者負担の考え方には適さない事業。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	<p>第一期若者会議から提案された4事業(ミュージラルの制作、若者参加イベント「富田林で遊び尽くせ」の開催、市民交流演劇講座の開催、ミライ・カフェの開催)を実施している。</p> <p>ミュージラルの制作は、制作場所である金剛東中央公園を管理する農とみどり推進課と協力して事業を進めており、市公式インスタグラムについては、都市魅力課が主となり開設に向けた検討を進めている。</p> <p>第一期若者会議の任期終了者のうち22名が参加する若者会議OB会「心はいつも富田林(こことん)」の委員も事業に積極的に参加いただいており、各施策実現に向け、順調に進めてることが出来ている。</p>
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>第二期若者会議より提案された4事業(農業応援プロジェクトの実施、寺内町きらめきロードの開催、複合型イベントの開催、とっぴーを活用した情報発信ツールの拡充)について、各事業の担当課より、実現に向けた予算要望を実施する。本課担当事業として、若者が参加・運営する「複合型イベント」の開催に向け、必要な予算を要望する。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092532	事業名称	社会教育団体補助
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 社会教育総務費		(小事業) 社会教育団体補助

事業目的	市内の社会教育団体活動の推進を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	811	811		
	決算	250			

事業概要	市内の社会教育団体の健全な発展を図るとともに、教育の振興と児童・青少年の福祉の増進に協力し、教育環境の向上に努める。会員の資質向上を目的としたPTA連絡協議会への委託の事業(PTA教室)の実施に伴う補助を行う。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	市内の社会教育団体活動の実施回数	→	単位	予定	70	70	70	70
				実績	12			
			【 回 】	(令和8年度目標値 → 70 回)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	市内の社会教育団体への補助団体数	→	単位	予定	2	2	2	2
				実績	2			
活動指標2	市内の社会教育団体への補助金額	→	単位	予定	811	811	811	811
				実績	250			
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	教育の振興及び青少年の教育環境の向上のため、PTA活動を含む社会教育活動は不可欠である。		得られる財源はない。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	補助金事業のため、委託できない		補助金事業の為、受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	新型コロナウイルス感染症により、R2年度・3年度の補助金支出は減少しているが、R2年度よりは、3年度の方がコロナ禍においても活動を工夫しながら実施しており、補助金支出は増えている。コロナ禍において、青少年にも大きな影響が出ており、教育の振興及び青少年の教育環境の向上のためには、PTA活動を含む社会教育活動は不可欠であることから、団体にはwithコロナにおける活動を工夫して実施してもらえるよう助言等を行うとともに、活動を下支えしていきたい。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 コロナ禍において、事業活動が縮小せざるを得ず、補助金支出は、R2年度・3年度と予算額を下回っているが、活動を工夫しながら、事業を継続しており、コロナ禍において影響を受けている青少年の教育環境を支えていくためにも、R4年度と同様の金額で予算要望を行っていききたい。
-------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092534	事業名称	文化振興一般事務
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 文化振興一般事務

事業目的	文化振興の方向性を示し、市民憲章に示す、教育文化都市「とんだばやし」の発展を目指すことを目的として「文化芸術振興ビジョン」を制定する。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	0	4,800		
	決算	0			

事業概要	富田林市の文化振興に関する事務を実施。文化振興の方向性を示し、市民憲章に示す、教育文化都市「とんだばやし」の発展を目指すことを目的として「文化芸術振興ビジョン」を制定する。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	文化芸術振興ビジョンの完成	→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績	0	1	1	1
			[]	(令和8年度目標値 → 1)				
成果指標2	文化芸術振興ビジョンに基づく文化芸術振興施策の実現	→	単位	予定	0	0	1	3
				実績	0			
			[]	(令和8年度目標値 → 3)				
活動指標1	文化芸術振興ビジョン策定委員会の開催回数	→	単位	予定	0	4	2	2
				実績	0			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	文化芸術基本法により、地方公共団体は、文化芸術振興計画(本市における文化芸術振興ビジョン)の策定に努めなければならないとされている。		法律により努力義務規定されており、策定にかかる助成制度は無い。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	文化芸術振興ビジョン策定にあたり、策定業務を委託している。		地方公共団体が策定に努めなければならないとされているものに、受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	令和4年度中に、今後の10年間の本市の文化芸術振興の方向性を定める計画を策定するために、策定委員会を開催している。文化芸術振興ビジョンを策定し、市民文化の活性化に向けて、今後の文化芸術振興施策を実施していきたい。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 令和4年度中に策定する文化芸術振興ビジョンにおいて示す本市の文化芸術振興にかかる方針に基づき、文化芸術振興に伴う予算を要望する。
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092535	事業名称	文化振興基金運用事業
------	--------	------	------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 文化振興基金運用事業

事業目的	文化振興基金を活用し、さまざまな文化事業に助成金を交付することで、市民文化の振興を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	630	630		
	決算	379			

事業概要	市内で活動する文化団体が結成の節目(10周年等)に、文化の振興に著しく寄与する事業を行ったり、文化振興のために特に意義がある事業を行うときや、市又は市教育委員会と協働して行う事業に対して、事業費のうち対象経費の2分の1以内で20万円を上限として助成金を交付。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	事業参加者数	→	単位	(現年)				
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果指標2		→	単位	予定	1,850	1,850	1,850	1,850
				実績	593			
			【人】	(令和8年度目標値 → 1,850 人)				
活動指標1	助成した事業件数	→	単位	予定	4	4	4	4
				実績	3			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	例年、多くの事業について申請があり、市民による自主的な文化活動を支えるものとして、必要性が高い		文化振興基金を活用した助成事業であり、事業費の全額を基金取崩金と利息でまかなっている。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	申請された内容を審査委員会で審査し、助成金を支給する業務であり委託は困難。		文化振興基金を活用した助成金を交付する事業であり、受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	例年、多くの申請があり、市民の自主的な文化活動を促進させるものとして広く認知されている。コロナで活動を自粛していたものが、再開に向けて活動が進んでおり、予算の範囲では申請分の助成金をまかなえなくなってきている。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 新型コロナウイルス感染症により、文化活動の実施が困難であったことから、R2年度助成金交付実績はなかったが、R3・4年度は多くの申請があり、withコロナに向けて、今後も申請があると見込まれることから、要望額については増額して予算を要望していきたい。
---------------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092536	事業名称	はたちのつどい
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 青少年対策費		(小事業) はたちのつどい

事業目的	20歳を迎えた青年を祝福し、成人として自覚する機会を提供する。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	3,973	4,224		
	決算	4,209			

事業概要	成人の日にすばるホールにて式典を実施する。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で式典を開催するほか、交流会・市長と語るう会を開催する。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	新成人の出席率	→	単位	予定	72	72	72	72
				実績	68			
【 % 】				(令和8年度目標値 → 72 %)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
【 】				(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	はたちのつどいの案内はがき送付枚数	→	単位	予定	1,350	1,350	1,350	1,350
				実績	1,172			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	成人を祝う行事として定着しており、必要である。		新たな財源取得は困難。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	長年、市が直接実施していることもあり、地区ごとにお祝いする機運や組織が醸成していないため、現実的に難しい。		受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	今年度の式典参加を予定している新成人は、1年以上前から着物・着付けや美容室の予約をしており、はたちのつどいの中止は、キャンセル料の負担の可能性があるため、新成人への影響が少なくないことから、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、可能な限り開催していきたいと考えている。感染対策について、新成人に理解していただき、安心して参加してもらえるようにしていきたい。ただし、体調が悪い新成人には、出席の自粛をお願いするなどの対策を行わなければならない、参加率のみを考慮した評価が今後、難しくなると考えている。また、富田林市では若者条例を制定し、若者の意見を踏まえた施策をすすめていくこととしていることから、現状、コロナ禍での第2部の開催は難しいと考えているが、アフターコロナとなった段階で、式典の第2部での取り組み内容に新成人が企画運営をする実行委員会方式等を採用するなどの取組について検討していきたい。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>はたちのつどいは、参加者の密接・密集が避けられない状況が続いている。新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置や消毒、マスク配布などの感染症対策に加えて、密接・密集を防ぐために、式典会場を分散化し、会場内の整理のために警備員を配置するなど、必要な予算を要求している。</p> <p>来年度以降も、新型コロナウイルス感染症への対策は続くと考えられるため、感染症対策に留意して予算を要求していく。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092539	事業名称	青少年対策管理事務
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 青少年対策費		(小事業) 青少年対策管理事務

事業目的	青少年の健全育成を図るため、青少年指導員活動を支援する。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	1,910	1,909		
	決算	798			

事業概要	青少年指導員活動経費を負担。
------	----------------

■実施(DO)

成果指標1	青少年事業の参加者数	→	単位	予定	3,100	3,100	3,100	3,100
				実績	283			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 3,100 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【 】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	青少年指導員数	→	単位	予定	48	48	48	48
				実績	48			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	青少年指導員は、非行防止活動や青少年健全育成のための事業の実施に取り組むほか、地域住民が行う活動への協力や参加により地域に貢献しており、必要な人材である。		新たな財源の取得は困難。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	委託できる事業は、青少年指導員連絡協議会へ委託済。		受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	青少年指導員連絡協議会は、新型コロナウイルス感染症により、活動が困難となっている。 青少年の健全育成のために、新型コロナウイルス感染症禍において、どんな活動ができるかを検討していく必要がある。 なお、青少年指導員は、改正地方公務員法の施行(2020年4月1日)により特別職(公務員)の位置付けができなくなったため、有償ボランティアとなった。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 青少年指導員は、非行防止活動や青少年健全育成のための事業の実施に取り組むほか、地域住民が行う活動への協力や参加により地域に貢献しており、必要な人材であるため、引き続き事業を継続していく。 ただし、新型コロナウイルス感染症により、現在の活動について、実施が難しくなっており、今後の活動について、見直しが必要である。
-------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092540	事業名称	青少年団体補助事業
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 青少年対策費		(小事業) 青少年団体補助事業

事業目的	市こども会育成連絡協議会の活動やボーイスカウト・ガールスカウトの活動を支援することにより、児童の健全な育成を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	521	521		
	決算	154			

事業概要	市こども会育成連絡協議会、ボーイスカウト・ガールスカウトに対する補助金の交付事務。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	市こども会育成連絡協議会加入者数	→	単位	予定	1,200	1,200	1,200	1,200
				実績	633			
			【 人 】	(令和8年度目標値 → 1,200 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	市こども会育成連絡協議会活動実施回数	→	単位	予定	11	11	11	11
				実績	0			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	総合ビジョンにおいて、未来の担い手の育成として、市こ連との連携が掲げられており、地域のこども会が少子化の影響で減少する中で、市こ連の活動は欠かせない。		国や府の補助金制度がなく、受益者負担により団体が事業を行っているため、新たな財源確保は困難。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	補助金の交付にかかる事務であり、委託できない。		団体が、参加費や分担金を徴収して事業を運営している。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	市こ連の活動は、こどもの健全育成に貢献する内容であるが、少子化等により、加入者等の増加は難しい状況であり、令和2年度より、市こ連の補助事業の精査を行い、補助金の減額を行った。 新型コロナウイルス感染症により事業実施が困難となっており、来年度以降、感染症対策を講じた上で、開催できるよう、団体との調整が必要である。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 未来の担い手を育成するために、団体の活動は欠かせないため、今後も補助事業を維持していきたい。
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092542	事業名称	人権教育推進事業
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策2) みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり ▶ (3) 多様性の尊重による共生社会の形成 ▶ (個別施策13) 人権の尊重と平和の希求
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 人権教育費		(小事業) 人権教育推進事業

事業目的	文字を学びコミュニケーション力をつけることにより、社会参加や地域参加の機会を広げ、市民の生きる喜び豊かな暮らしを実現する識字・日本語学級を開催	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	549	553		
	決算	253			

事業概要	人権文化センターにおいて、地域の有償ボランティア等の指導のもと、受講者のニーズにあわせた週2回の定期的な識字教室を開催
------	---

■実施(DO)

成果指標1	識字教室参加人数	→	単位	(現年)				
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果指標2		→	単位	予定	410	420	420	420
				実績	149			
			【 人 】	(令和8年度目標値 → 430 人)				
活動指標1	識字教室開催回数	→	単位	予定	85	85	85	85
				実績	73			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	識字は、憲法で保障する健康で文化的な最低限度の生活を営む上で必要な知識であり、教育機会がなかった方々に対する識字習得の機会の提供や、これからの外国人との共生社会における日本語教育など、事業について必要性が高い		識字に関する国庫補助制度はあるが、体制づくりに関する補助制度であり、現在の取組内容では対象とならない。対象とするためには、取組を拡大して実施しなければならないため、現時点では困難。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	人権文化センターの事業として、長年直営で実施してきた経過や、講師も地域の方が中心による市民協働が定着しており、ほかの自治体においても直営事業が多い。		対象者は、高齢者又は外国人が多く、低所得者が多いと見込まれるため、受益者負担は困難。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	識字習得の機会の提供、外国人に対して日本語学習の機会提供など、今後も必要な事業である。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>識字問題は、国が抱える社会問題・人権問題として捉える必要があることから、日常生活に困るという問題に直結する市民がいる限り、継続していかなければならない事業である。現状を継続して予算要望を行っていきたい。</p>
---------------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092546	事業名称	市民文化祭
------	--------	------	-------

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶ (個別施策20) 人が集まる機会の創出
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 市民文化祭

事業目的	「富田林市市民文化祭」の開催により、市民文化の振興を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	800	800		
	決算	579			

事業概要	「富田林市市民文化祭」の開催を文化団体協議会に委託する経費を負担。
------	-----------------------------------

■実施(DO)

成果指標1	市民文化祭参加者・入場者数	→	単位	(現年)				
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果指標2		→	単位	予定	8,000	8,200	8,400	8,600
				実績	2,951			
			【人】	(令和8年度目標値 → 9,000 人)				
活動指標1	市民文化祭参加団体数	→	単位	予定	13	13	13	13
				実績	10			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	市民文化の振興を図るため、富田林市市民文化祭の開催は不可欠である。		市民団体の展示や発表であり、多くの市民が参加しやすいよう、利用入場料等の徴収にはなじまない。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	×:検討していない
	委託事業ではなく、補助金事業として位置付けている。		市民団体の展示や発表であり、多くの市民が参加しやすいよう、利用入場料等の徴収にはなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	文化活動については、感染リスクが高いとみなされているものもあり、活動について制約が課されている状況である。令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、一部の事業が中止となったが、その中でも感染症対策を講じて、開催できた事業もあり、引き続き、文化活動に関する意欲が高いことから、今後も市民文化祭の開催により、さらなる市民文化の振興を図りたいと考える。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>市民文化の向上のため、引き続き、委託的事業補助金、奨励的事業補助金の交付が適切と考える。</p>
-------------------	---

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092547	事業名称	放課後子ども教室推進事業
------	--------	------	--------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (1) 親と子を支える子育て環境づくり ▶ (個別施策2) 子ども・子育て支援の充実
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 青少年対策費		(小事業) 放課後子ども教室推進事業

事業目的	放課後において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後等の支援活動を行う。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	3,349	4,744		
	決算	1,457			

事業概要	市内16小学校の学校施設を利用し、各校区で協力頂く地域のボランティア指導員の方々と調整しながら活動プログラムを企画・立案し、放課後や週末等にスポーツや文化活動、交流活動等を実施するほか、地域ボランティア指導員を対象とした指導者講習会を実施する。また各小学校で放課後に実施している学習支援事業に大学生ボランティアを講師として派遣している。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	放課後子ども教室参加児童数	→	単位	予定	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績	4,470			
				【人】 (令和8年度目標値 → 12,000人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	放課後子ども教室指導員参加者	→	単位	予定	2,200	2,200	2,200	2,200
				実績	656			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	小学生の放課後の居場所づくりの事業であり、必要性は高い。		大阪府の補助事業として実施している。
事業の 委託可能性	○:委託できる	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	地域ボランティアによるコミュニティづくりという趣旨を理解し、現在の事業を継続できる事業者があれば委託は可能。		対象者が小学生であり、放課後の居場所づくりとして実施する事業のため受益者負担にはなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、従来から実施している工作活動やスポーツ活動については、全学期の教室を中止した。また、学習の遅れが懸念されている中で、放課後子ども教室の枠組みを利用して、教員を目指す大学生ボランティアを募集し、小学生対象の学習支援事業を7校で実施した。令和4年度は9校実施で進めている。実施については、感染防止体側を行いながら慎重に行っている。</p> <p>なお、工作教室は、指導員に高齢な方が多く、指導員に対するリスクも考慮した上で実施できていない。今後も慎重な対応が求められることに変わりはない。</p>
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をしながらの事業実施となるため、感染症対策による消耗品(消毒液、マスク等)が必要となる。また、学習支援事業について、令和2年11月より実施しており、学校と協力しながら、実施数を増やしていきたいと考えており、大学生ボランティアの確保に努めていきたい。</p> <p>予算については、学習支援を拡充する要望を行ってきたい。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092548	事業名称	生涯学習推進事業
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 社会教育総務費		(小事業) 生涯学習推進事業

事業目的	市民の学びきっかけや学び直しとなる事業を実施し、本市生涯学習の推進を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	5,362	5,169		
	決算	5,194			

事業概要	市民の知的好奇心を高め、将来の夢や目標を抱ききっかけとなる生涯学習事業を実施する。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	きらめき創造館利用者数	→	単位	予定	25,000	25,000	25,000	25,000
				実績	27,756			
			【 人 】	(令和8年度目標値 → 25,000 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	生涯学習推進業務講座等回数	→	単位	予定	30	30	30	30
				実績	15			
活動指標2	生涯学習推進業務講座等参加者数	→	単位	予定	500	500	500	500
				実績	277			
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				
			【 0 】					

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	生涯学習推進講座「富田林きらめき大学」は、コロナの影響で講座が中止・延期となったり、参加人数を制限したことで、講座回数や参加者数が減少しているが、各講座については多くの申込者があり、大変好評である。		生涯学習推進にかかる国・府等の補助制度はない。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	生涯学習推進業務として委託済みである。		市民に広く生涯学習講座を受けていただくことを目的としており、基本無料としているが、必要に応じて入場料等受益者負担を徴収している。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	生涯学習推進プランにおいて、『「学びつづけるひと・まち富田林」をめざし、本市生涯学習施策に取り組みます。』としていることから、引き続き生涯学習推進に向けて取り組んでいきたい。
---------------	---

■予算要望の方向性(PPLAN)

]

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>生涯学習の推進に向けて、継続して予算を要望していきたい。</p>
---------------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092549	事業名称	子ども・若者支援事業
------	--------	------	------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 社会教育総務費		(小事業) 子ども・若者支援事業

事業目的	未来の担い手である子ども・若者の育成、支援	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	7,669	7,515		
	決算	7,348			

事業概要	子ども・若者育成支援推進法に基づくひきこもり本人や家族等への支援、及びきらめき創造館Topicにおける若者への相談や学習支援など子ども・若者育成支援業務を実施する。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	きらめき創造館利用者数	→	単位	予定	25,000	25,000	25,000	25,000
				実績	27,756			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 25,000 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【 0 】 (令和8年度目標値 → 0 0)				
活動指標1	ひきこもり相談件数	→	単位	予定	24	24	24	24
				実績	19			
活動指標2	青少年委員会開催(令和3年度末に解散)	→	単位	予定	12	0	0	0
				実績	2			
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	子ども・若者育成支援推進法第13条において、若者に関する相談は、市町村が取り組む事務として規定されている。子ども・若者育成支援として、学校にも家庭にも居場所のない若者が増えており、居場所機能が必要。		ひきこもり相談等については、国の生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を活用して事業を実施している。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	子ども・若者育成支援業務として、きらめき創造館の管理・運営について委託済み。また、ひきこもり相談等について、事業者相談員の派遣を依頼して実施している。		子ども・若者育成支援業務については、食糧費等実費は徴収済み。ひきこもり相談については、福祉相談であり、受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	<p>ひきこもり相談については、令和元年度より、国の生活困窮対策補助金を活用している。</p> <p>ひきこもりに関する痛ましい事件が発生したことにより、令和元年6月以降、相談枠がほぼ埋まるような状況が続いており、令和2年度より金剛連絡所での相談を開始した。</p> <p>ただし、相談件数は、新型コロナウイルス感染症により、減少しているが、基本毎月相談がある状況である。ひきこもり当事者については、相談後の追跡ができていないが、相談事業者の意見交換会から支援につなげていない状況を認識しており、後追いを続けながら、居場所の確保を含めた事業を実施し、ひきこもり支援機関へつなげていく必要がある。なお、令和3年度から当該事業の実施を行っており、引き続き事業を継続していく必要がある。</p> <p>子ども・若者育成支援業務として、ロビースタッフが若者と関わり、相談や学習支援を行うことで、Topicが彼らの居場所となっていたが、新型コロナウイルスの影響で、館が休館となったり、ロビーでの利用を制限したため、利用者が大きく減少していることから、多くの若者の居場所にならなかった。オンラインにおける学習支援や動画配信など若者に対する発信を継続的に行っており、引き続き継続していく必要がある。また、コロナ禍により生活が困窮するなど困っている若者に対する相談事業を開始している。</p>
-----------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>ひきこもり相談については、現状の相談枠を継続しながら、NPO等の相談事業者へつなげていくために、ひきこもり当事者が参加できるイベントを開催し、また親の会の立ち上げを支援するなど、居場所づくりに関する事業を引き続き進めていきたい。</p> <p>また、子ども・若者育成支援業務については、若者が集える居場所でありつつ、心の居場所としてオンラインを活用した取り組みを進めるとともに、困りごとに関する相談を含めた若者に寄り添った取り組みを引き続き進めていきたい。</p>
-------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092601	事業名称	社会体育管理事務
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 保健体育費		(中事業) 社会体育経常事業
	(目) 保健体育総務費		(小事業) 社会体育管理事務

事業目的	スポーツ振興事業を円滑に推進するための庶務及びスポーツ推進委員協議会活動により社会体育の振興普及を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	2,164	1,970		
	決算	1,775			

事業概要	スポーツ推進委員協議会による市民を対象としたスポーツ、レクリエーションなどの活動を実施する。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	スポーツ推進委員協議会事業参加者数	→	単位	予定	11,300	11,300	11,300	11,300
				実績	921			
			【 人 】	(令和8年度目標値 → 11,300 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	事業実施回数	→	単位	予定	70	70	70	70
				実績	14			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	地域の市民を対象とした事業であり、公益性においても必要性は高い。		事業実施においては、受益者負担とすべきものについてはすでに受益者負担で行っていることから検討していない。
事業の 委託可能性	×:委託できない(法的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	市からの委嘱を受けたスポーツ推進委員の協議体による事業であるため、民間事業者等への委託は困難である。		事業実施に必要な金額を受益者負担としており、適正である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	スポーツ推進委員による地域の市民を対象とした事業が多く、近年の健康ブームや参加者数からも、市民ニーズがある。活動主体であるスポーツ推進委員において、常時活動できる委員が限られていることから、再委嘱、再任の要件を検討する必要がある。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 スポーツ基本法に基づき、市の委嘱を受けたスポーツ推進委員が地域に根付いた活動を行うための活動費であり、必要である。
---------------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092603	事業名称	スポーツ指導普及事業
------	--------	------	------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 保健体育費		(中事業) 社会体育経常事業
	(目) 保健体育総務費		(小事業) スポーツ指導普及事業

事業目的	市民の誰もが参加できる健康・体力づくり及び社会体育指導者の養成に重点をおき、スポーツの振興を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	640	980		
	決算	311			

事業概要	スポーツ推進委員協議会による事業、ジュニアスポーツリーダースクール、体力測定会や各種指導者の派遣などの事業を行う。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	ジュニアスポーツリーダー参加者数	→	単位	予定	635	635	635	635
				実績	99			
【人】				(令和8年度目標値 → 650人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
【】				(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	事業実施回数	→	単位	予定	10	10	10	10
				実績	3			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな財源の検討	×:検討していない
	ジュニア・スポーツリーダー・スクールを通じて自主性のあるリーダーを養成し、ボランティア意識の向上や、さまざまな経験を積むことで、今後地域の様々な分野で活躍できる人材を育てる。		事業実施においては、受益者負担とすべきものについては、すでに受益者負担で行っていることから検討していない。
事業の委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担の適正さ	○:適正である
	市の委嘱を受けたスポーツ推進委員で構成された協議会において、事業の企画・立案を行っているため、民間事業者等への外部委託は困難である。		事業実施に必要な金額を受益者負担としており、適正である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	子どもの自立を促すカリキュラムに基づく、地域のリーダーとなる子どもを育成する事業であるため、保護者からの期待も高く参加者も継続参加が多くみられることから、引き続き実施するべきである。 受益者負担で事業を実施していることから、少子化等で参加者数が少なくなると事業実施が困難になる可能性がある。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら事業を実施しているが、ジュニアスポーツリーダーズスクールの新規受講者数、年間参加者数、体力測定会の参加者数が減少傾向にあるため、今後参加者数等を増加させ、事業を継続していくための検討が必要であると考えます。また、市の委嘱を受けたスポーツ推進委員協議会において、事業を企画・立案し実施しているが、市教委主催でもあるため、実施事業に職員の随行は必要であると考えます。 特に宿泊を要する事業、研修会(キャンプ実習、スキー実習、全国又は近畿の研修会など)では、主催者リスクを問われる可能性があるため、職員の随行が必要であると考えられる。
-------------------	---

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092604	事業名称	市民スポーツ活動推進事業
------	--------	------	--------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 保健体育費		(中事業) 社会体育経常事業
	(目) 保健体育総務費		(小事業) 市民スポーツ活動推進事業

事業目的	市民の体力向上を目的として、一人でも多く参加できる事業・大会を開催するとともに、社会体育団体及び指導者の育成を図る。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	6,165	5,950	
		決算	2,362			

事業概要	各種スポーツ団体等に委託するなどにより、市民体育大会、市民スポーツレクリエーション祭、計測チップを導入した市民マラソン大会、大阪府総合体育大会やドリームフェスティバルの開催などの事業を実施する。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	スポーツ事業参加者数	→	単位	予定	14,500	14,500	14,500	14,500
				実績	4,653			
				【人】 (令和8年度目標値 → 14,500人)				
成果指標2	富田林ドリームフェスティバル来場者数	→	単位	予定	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績	0			
				【人】 (令和8年度目標値 → 3,000人)				
活動指標1	事業実施回数	→	単位	予定	25	25	25	25
				実績	20			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	各種スポーツ団体とも、活発な活動により、市民に身近にスポーツに親しむ機会をつくり、大会全体では1万人以上の市民が参加するなど、市民のスポーツ活動の推進に対して、大きな役割を担っており、必要性は高いものとする。		地域スポーツ活動の活性化を目的とした地方公共団体スポーツ活動助成金等の補助を受けられる可能性はあるが、交付要件等が複雑であり、活用は困難である。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担の適正さ	×:検討していない
	全て各スポーツ団体へ委託している。		各大会により規模や内容が異なるが、受益者負担については適正である。なお、ドリームフェスティバルはオリックス主催事業であり、入場料はオリックスの収入となる。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	事業の必需性に記載したとおり、各種スポーツ団体の積極的な活動により、市民がスポーツを身近に楽しむ場が多くあり、また、委託している各スポーツ大会でも一定の参加者がコンスタントに確保できており、市民のスポーツ活動の促進しており、事業自体は充実した内容のものとする。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら市民体育大会を始めとする各種スポーツ・レクリエーション事業を推進することで、市民の健康の増進につながることから、次年度以降も取り組みを継続していく。
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092606	事業名称	学校開放事業
------	--------	------	--------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 保健体育費		(中事業) 社会体育経常事業
	(目) 体育施設費		(小事業) 学校開放事業

事業目的	学校体育施設を地域住民に開放し、利用団体の調整など地域住民により運営していただくことで、地域コミュニティー意識の高揚を図るとともに本市のスポーツ振興を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	87	141		
	決算	110			

事業概要	学校体育施設の利用希望団体が構成する学校体育施設開放運営委員会を設置していただき、その会議の中で、利用団体の調整、施設の管理、安全の確認等を行っていただく。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	利用人数	→	単位	予定	410,000	410,000	410,000	410,000
				実績	229,982			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 410,000 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【 】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	施設利用回数	→	単位	予定	13,000	13,000	13,000	13,000
				実績	8,226			
活動指標2	利用希望団体申請申込(広報掲載回数)	→	単位	予定	1	1	1	1
				実績	1			
活動指標3	学校体育施設全体説明会	→	単位	予定	1	1	1	1
				実績	1			
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	市民の生涯学習活動の場の確保のため、事業は必要である。		得られる財源はない。
事業の 委託可能性	○:委託できる	受益者負担 の適正さ	△:適正でない
	近隣市町村ではシルバー人材センターやNPO等に委託していることから、事業委託の可能性はある。		利用者に10割減免しているが、利用料を徴収することは可能。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	市民による様々なスポーツクラブがあり、小中学校を含めた市内体育施設の利用が多く、施設備品の破損やモップ、グラウンドの真砂土などの消耗品の減り・傷みが著しい。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>市民の生涯学習活動の場の確保のため、グラウンドの真砂土搬入費だけでなく、老朽化した施設備品の更新や修繕等の予算も必要であるとする。</p>
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093502	事業名称	きらめき創造館管理運営事業
------	--------	------	---------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 社会教育総務費		(小事業) きらめき創造館管理運営事業

事業目的	生涯学習施設・富田林市きらめき創造館Topicの管理運営を行う。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	16,559	18,030		
	決算	15,122			

事業概要	若者の育成拠点及び生涯学習の推進拠点として、きらめき創造館の管理運営を行うとともに、市民が学びつづけることのできる環境づくりを進める。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	きらめき創造館の利用者数	→	単位	予定	25,000	25,000	25,000	25,000
				実績	27,756			
【 】				(令和8年度目標値 → 25,000)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
【 】				(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	青少年委員会開催(令和3年度末に青少年委員会は解散)	→	単位	予定	12	-	-	-
				実績	2			
活動指標2	きらめき創造館の開館日数	→	単位	予定	343	344	344	344
				実績	286			
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	きらめき創造館は、青少年の交流施設として位置づけられており、多くの利用者があることから、維持管理していくために必要な事業である。		施設使用料を徴収することで財源としている。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	警備や清掃、庁舎管理等委託済み。		施設使用料を徴収し、受益者負担を求めている。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	平成29年9月オープンより、5年以上が経過し、施設や備品の修繕に必要な予算が増大している。また、備品は青少年センターから移設したものも多く、耐用年数が過ぎたものについては更新が必要。 新型コロナウイルス感染症対策として、アルコールなどが必要。 きらめき創造館は、年末年始及び祝日を休館日としているが、新型コロナウイルス感染症対策により、4月25日～6月20日まで休館となった。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 施設オープンより5年以上が経過し、修繕等に必要な経費が増えてきているため、修繕に必要な予算を増額して要望していく。 また、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費も要望していく。
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093521	事業名称	野外活動振興事業
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶ (個別施策4) 未来の担い手の育成
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 青少年対策費		(小事業) 野外活動振興事業

事業目的	本市青少年に対し、野外活動を通じて、集団生活を体験する中で生活指導等を行い、心身ともに健全な青少年の育成に寄与する。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	533	547	
		決算	129			

事業概要	野外料理教室、キャンプ等の野外活動の実施・指導などを野外活動協会に委託して実施する事業。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	事業参加者数	→	単位	予定	80	80	80	80
				実績	39			
			【 人 】	(令和8年度目標値 → 80 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			【 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	キャンプ場利用回数	→	単位	予定	35	35	35	35
				実績	13			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	△:事業内の一部について必要性が低い	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	事業に関して、一般市民の需要があるものもあるが、内容によっては、市民のニーズがなく参加者がほとんど集まらないものもある。		同事業に活用できる補助金等がない。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	富田林市野外活動協会にすべて委託している。		参加費等については、適正な金額を徴収している。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	野外活動振興事業では、一般市民に貴重な経験をしてもらえるため、需要はあるものの事業内容によってはほとんど参加者がいないものもある。 そのため、課題として事業内容・広報方法の見直しが考えられる。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 市民がなかなか体験できない野外活動の機会を提供する貴重な事業であることから、内容について見直しは必要だが、同額で予算要望を行う。
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093531	事業名称	すばるホール管理運営事業
------	--------	------	--------------

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶ (個別施策20) 人が集まる機会の創出
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 文化振興費		(小事業) すばるホール管理運営事業

事業目的	すばるホールの安全快適な管理運営を行うことにより、市民文化の振興を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	211,408	212,715		
	決算	219,407			

事業概要	市民の多種多様なニーズに応え、市の文化振興に寄与できる様々な事業を実施する。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	すばるホール施設利用者数	→	単位	予定	260,000	260,000	260,000	260,000
				実績	93,766			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 260,000 人)				
成果指標2	すばるホール施設利用率	→	単位	予定	65	65	65	65
				実績	40			
				【 % 】 (令和8年度目標値 → 65 %)				
活動指標1	すばるホール開館日数	→	単位	予定	310	310	310	310
				実績	262			
活動指標2	すばるホール指定管理料	→	単位	予定	227,734	227,734	227,734	227,734
				実績	199,343			
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	×	検討していない
	市民の多種多様な文化ニーズに応え、市の文化振興を向上させるために、必要である。		指定管理者制度を導入しているため、施設における収入は基本的に、指定管理者の収入となる。	
事業の 委託可能性	×	受益者負担 の適正さ	○:	適正である
	既に指定管理者制度を導入している。		利用料金は適正な金額と考える。	

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	<p>すばるホールが文化を創造する拠点として広く市民に利用されるよう、今後も利用者ニーズの積極的な把握を進めるとともに、市民参加型事業を中心とした、多彩な文化事業の展開や幅広い周知に努め、市民文化の振興を図ることが重要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、安全・安心な施設管理運営への業務改善、利用者数の低迷や講座、イベントの自粛等による、収入の減少が当面続くと見込まれ、経営環境が非常に厳しい中であるが、安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう、創意工夫が必要である。また、開館から30年を超え、設備や備品等の老朽化が進んでおり、財政負担が大きくなっている。利用者の安全や利便性を考慮し、計画的な修繕や更新等が課題となっている。</p>
-----------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>令和元年度から令和5年度までの5年間の指定管理料は、基本協定により決定しており、これに基づき予算要望をしていく。</p>
-------------------	---

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093532	事業名称	市民会館管理運営事業
------	--------	------	------------

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶ (個別施策20) 人が集まる機会の創出
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 市民会館管理運営事業

事業目的	市民会館の円滑な運営を行うことにより、市民文化の振興を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	59,432	60,364		
	決算	60,816			

事業概要	指定管理者への施設の管理運営委託及び市民劇場の開催を行っている。
------	----------------------------------

■実施(DO)

成果指標1	市民会館施設利用者数	→	単位	予定	117,000	117,000	117,000	117,000
				実績	57,228			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 117,000 人)				
成果指標2	市民会館施設利用率	→	単位	予定	70	70	70	70
				実績	55			
				【 % 】 (令和8年度目標値 → 70 %)				
活動指標1	市民会館開館日数	→	単位	予定	300	300	300	300
				実績	257			
活動指標2	市民会館指定管理料	→	単位	予定	54,856	54,856	54,856	54,856
				実績	58,116			
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	市民の多種多様な文化ニーズに応え、市の文化振興を向上させるために、必要である。		指定管理者制度を導入しているため、施設における収入は基本的に、指定管理者の収入となる。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	既に指定管理者制度を導入している。		利用料金は適正な金額と考える。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	市民交流の場として、市民会館が広く市民に利用されるよう、今後も利用者ニーズの積極的な把握を進めるとともに、市民参加型事業を中心とした多彩な文化事業の展開や幅広い周知に努め、市民文化の振興を図ることが重要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、安全・安心な施設管理運営への業務改善、利用者の低迷や講座、イベントの自粛等による収入の減少が当面続くと見込まれ、経営環境が非常に厳しい中であるが、安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう創意工夫が必要である。開館より、50年近く経過し、老朽化が著しいため、緊急修繕等に必要予算の増大が今後見込まれる。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>令和元年度から令和5年度までの5年間の指定管理料は、基本協定により決定しており、この金額に基づき予算要望をする。また突発修繕にかかる予算については、開館より40年以上が経過し、設備や備品等の故障が頻発していることから、増額して要望していきたい。</p>
-------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093604	事業名称	スポーツ施設管理運営事業
------	--------	------	--------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 保健体育費		(中事業) 社会体育施設管理事業
	(目) 体育施設費		(小事業) スポーツ施設管理運営事業

事業目的	総合スポーツ公園、市民総合体育館、青少年スポーツホール、屋外体育施設等の市立スポーツ施設の管理について指定管理者と協定を締結し、利用者のニーズに沿った管理運営を行う。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	118,186	116,703	
		決算	122,176			

事業概要	市立スポーツ施設において、指定管理者を選定して管理運営を委託し、各種スポーツ教室や講習会などを開催するなど、市民の憩いの場・スポーツの場を提供する。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	施設利用者人数	→	単位	予定	830,074	831,615	833,156	834,697
				実績	521,757			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 837,785 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【 】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	施設利用件数	→	単位	予定	35,500	35,600	35,600	35,600
				実績	27,667			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	市民の健康・スポーツ志向に対応するとともに、市民の憩いの場・スポーツの場を提供している。		市の公共施設の維持管理にかかる経費のため、新たな財源確保は難しい。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	指定管理者制度を導入している。		利用料金は、適正な金額であると考えます。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	施設利用率の向上による利用料金の増加が求められる。利用料金収入が増加することに伴い、市への還元が増えことで市が支払する指定管理料の負担軽減が可能となる。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>令和5年度の指定管理料については、基本協定書で定めた年度協定額で予算要望する。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093605	事業名称	市民プール管理運営事業
------	--------	------	-------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 保健体育費		(中事業) 社会体育経常事業
	(目) 体育施設費		(小事業) 市民プール管理運営事業

事業目的	市民プール(アクアパークきらめき)を開放し、市民の健康増進と体力の向上を図る。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	17,655	17,594	
		決算	3,356			

事業概要	小学校の夏休み期間(7月21日～8月31日)にプールを開放するため、指定管理者の選定及び選定された指定管理者との協議・調整などを行う。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	市民プール入場者数	→	単位	予定	27,000	27,000	27,000	27,000
				実績	0			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 27,000 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【 】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	開場日数	→	単位	予定	42	42	42	42
				実績	0			
活動指標2	緊急修繕件数	→	単位	予定	1	1	1	1
				実績	0			
活動指標3	緊急修繕金額	→	単位	予定	600,000	600,000	600,000	600,000
				実績	0			
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	市内複数か所の市民プールを1か所に集約したことから、事業の必要性は高い。年々利用者数が増加している。		市の公共施設の維持管理にかかる経費のため、新たな財源確保は難しい。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	△:適正でない
	指定管理者制度を導入している。		利用料金は、民間も含めた他の施設と比較しても、非常に安価な設定としている。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	更なる施設利用率の向上に向け、引き続き指定管理者との協議を進める。
---------------	-----------------------------------

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>令和5年度以降の指定管理者の選定が今年度に行われる。令和5年度の指定管理料については、今年度に締結する基本協定に基づく年度協定額を予算要望する。</p>
---------------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	094503	事業名称	すばるホール整備事業
------	--------	------	------------

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶ (個別施策20) 人が集まる機会の創出
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 文化振興費		(小事業) すばるホール整備事業

事業目的	すばるホールが安全で快適に利用できるよう、施設の整備及び機器類の更新を実施。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	20,161	75,841		
	決算	14,701			

事業概要	施設の整備及び機器類の更新を実施。
------	-------------------

■実施(DO)

成果指標1	老朽化施設の修繕、更新事業であり、成果指標の設定になじまない。	→	単位	予定				
				実績				
			[]	(令和8年度目標値 →)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			[]	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	修理等の件数	→	単位	予定	3	3	3	3
				実績	3			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	すばるホールは、開館から、30年近く経過し、施設が相当老朽化しているため、安全、安心な施設運営の観点から、老朽化した、施設・備品の更新・修繕は不可欠である。		市の公共施設の整備にかかる費用であり、基本的には補助制度等はないが、整備内容によっては国庫補助や起債対象となるものもあるため、使える財源がないか慎重に検討する必要がある。
事業の 委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	設計業務等、一部に委託可能な業務もあるが、工事の発注や備品の購入等については委託できない		該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	利用者の安全確保と施設の長寿命化のため、老朽化した施設の修繕、更新は必要である。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>利用者の安全確保と施設の長寿命化のため、老朽化した施設の修繕、更新を実施することを最優先とする。</p>
---------------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	094504	事業名称	市民会館整備事業
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶ (個別施策20) 人が集まる機会の創出
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 市民会館整備事業

事業目的	市民会館が安全で快適に利用できるよう、施設の整備及び機器類の更新を実施。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	2,600	5,900		
	決算	2,661			

事業概要	老朽化した施設の修繕、更新を行う。
------	-------------------

■実施(DO)

成果指標1	老朽化施設の修繕、更新事業であり、成果指標の設定になじまない。	→	単位	予定				
				実績				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標1	修理等の件数	→	【箇所】	単位	3	3	3	3
				実績	3			
活動指標2		→	【】	単位				
				実績				
活動指標3		→	【】	単位				
				実績				
活動指標4		→	【】	単位				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	市民会館は、開館から50年近く経過し、施設が相当老朽化しているため、安全・安心な施設運営の観点から、老朽化した設備・備品の更新、修繕が必要不可欠である。		市の公共施設の整備にかかる費用であり、基本的には補助制度等はないが、整備内容によっては国庫補助や起債対象となるものもあるため、使える財源がないか慎重に検討する必要がある。
事業の 委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	設計業務等、一部に委託可能な業務もあるが、工事の発注や備品の購入等については委託できない		該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	利用者の安全確保と施設の長寿命化のため、老朽化した施設設備・備品の修繕更新が必要不可欠である。設備について、設置から50年近く経過し、部品等がなく、修繕対応が難しい。 また、公共施設として、トイレの洋式化を含むバリアフリーが不十分な現状があるため、設備の更新も必要である。
---------------	---

■予算要望の方向性(PPLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 利用者の安全確保と施設の長寿命化のため、老朽化した施設の修繕、更新を実施することを最優先とするが、バリアフリーを考慮した更新にも努めていきたい。
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年10月3日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	094601	事業名称	体育施設整備事業
------	--------	------	----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策6) 市民文化・スポーツの推進
------	--

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 保健体育費		(中事業) 体育施設投資事業
	(目) 体育施設費		(小事業) 体育施設整備事業

事業目的	安全かつ、より充実した体育施設を市民に利用していただき、スポーツに親しむ機会を提供する。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	56,470	92,855	
		決算	49,370			

事業概要	市民総合体育館、青少年スポーツホール、総合スポーツ公園、屋外体育施設等を市民ニーズに沿った安全かつ、より充実した施設に整備・改修する。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	体育施設利用人数	→	単位	予定	980,000	980,000	980,000	980,000
				実績	521,757			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 人)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
				【 】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	体育施設利用件数	→	単位	予定	35,000	35,000	35,000	35,000
				実績	27,667			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	市民総合体育館、総合スポーツ公園をはじめ、市の中心的なスポーツ施設等を市民が安全かつ快適に利用していただくために必要である。		市の公共施設の整備にかかる費用であり、基本的には補助制度等はないが、整備内容によっては国庫補助や起債対象となるものもあるため、使える財源がないか慎重に検討する必要がある。
事業の 委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	設計業務等、一部は委託可能なものもあるが、工事の発注や物品の購入等については委託できない。		該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	施設や備品等の老朽化による不具合がおきており、利用者からの苦情が後を絶たない。重大な事故に繋がる前に早急に施設整備や備品の更新を行う必要がある。 なお、青少年スポーツホールについては、利用者及び富田林市体育協会から雨漏りの修繕を強く要望されているところですが、令和3年度に策定予定の「金剛地区の施設等再整備基本構想」を踏まえ、施設のあり方について今後も引き続き検討してまいります。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 富田林市公共施設再配置計画ではキャンプ場の除去及び跡地の売却と、富田林市行財政経営改革ビジョンでは令和5年度からの次期指定管理者の選定に合わせて廃止すると記載されており、これを踏まえて、今後要望を行う。
-------------------	---

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	柳田 兼利

■対象事業

事業番号	092511	事業名称	文化財管理事業
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶ (個別施策29) 自然・歴史環境の保全
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 文化財管理事業

事業目的	市内の文化財等について維持管理及び指導等を行うことにより、歴史的資源の保全を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	4,611	12,245		
	決算	4,435			

事業概要	市内の文化財等の維持管理業務(除草・剪定、看板修繕等)、指定文化財所有者等への指導、指定文化財に関する事務、文化財保護審議会の開催等。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	市指定文化財件数(累積)	→	単位	予定	2	4	4	5
				実績	3			
【件】 (令和8年度目標値 → 5件)								
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
【】 (令和8年度目標値 →)								
活動指標1	市内文化財他修繕等箇所(年間) ※寺内町エリアを除く	→	単位	予定	2	2	2	2
				実績	2			
【箇所】								
活動指標2	文化財保護審議会開催回数(年間)	→	単位	予定	2	2	2	2
				実績	2			
【回】								
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
【】								
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				
【】								

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	×	検討していない
	・市内の歴史的資源である文化財を保全するためには、欠かすことができないものである。 ・文化財保護法第3条及び市文化財保護条例に基づく市の責務である。			文化財説明看板等の修繕費用について、観光施策に係る補助金を得られる可能性があるが、現段階ではその交付要件に適合するものがない。
事業の 委託可能性	×	委託できない(法的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	除草や樹木剪定など、すでに委託できるところは委託している。			市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、指定文化財修理等にかかる補助を行っている。市補助率(補助限度額)については、近隣自治体と比して適正であるとする。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	文化財保護審議会は2回開催したが、内1回は新型コロナウイルスの影響により書面開催となった。劣化した文化財説明看板の修繕を計画的に実施していく。また、市全体の文化財保存活用地域計画策定に向けて、協議会等を開催し、令和6年度の文化庁の認定を目指していく。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>①文化財等の適正な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none">・市が管理する文化財において、市民が快適に見学できる環境の維持や近隣住民の生活環境の低下を招かないように適切な時期に除草、樹木の伐採・剪定を実施していく。・文化財説明看板の修繕を計画的に実施していく。 <p>②令和6年度を目標として、市文化財保存活用地域計画を策定していく。</p>
-------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	柳田 兼利

■対象事業

事業番号	092512	事業名称	埋蔵文化財調査事業
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶ (個別施策29) 自然・歴史環境の保全
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 埋蔵文化財調査事業

事業目的	開発等により破壊される可能性のある埋蔵文化財を発掘調査し、記録保存する。又、国指定史跡である新堂廃寺跡等を整備する。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	15,672	9,968		
	決算	14,493			

事業概要	文化財保護法に基づく発掘届出の受付事務(通知を含む)、富田林市開発指導要綱に基づく指導・協議、立会・事前・試掘・本調査業務、国指定史跡新堂廃寺跡整備事業等。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	埋蔵文化財調査実施件数	→	単位	予定	5	5	5	5
				実績	5			
				【 件 】 (令和8年度目標値 → 5 件)				
成果指標2	新堂廃寺跡等整備事業については、事業の進捗率で成果を測ることができるが、現段階では全体像が確定していないため、数値化できない。	→	単位	予定				
				実績				
				【 件 】 (令和8年度目標値 →)				
活動指標1	文化財保護法第93条届出及び第94条通知件数(年間)	→	単位	予定	168	168	168	168
				実績	189			
活動指標2	試掘調査件数(年間)	→	単位	予定	25	25	25	25
				実績	13			
活動指標3	新堂廃寺跡等整備委員会開催回数(年間)	→	単位	予定	1	2	2	2
				実績	1			
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	法定事務であり、欠かすことの出来ないものである。		法定事務であり、一部は国庫補助対象事業として補助金を得ている。これ以上の財源は見込めない。
事業の 委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	現在も発掘調査の掘削業務を委託しているが、他の業務についても一部委託を進めることにより、業務の省力化・効率化が図れると考えられる。		個人住宅に関しては法定事務であり、該当しない。開発事業に関しては、原因者負担を求めている。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	埋蔵文化財の発掘調査業務とは、発掘調査を行い、出土遺物の整理作業や保存処理を経て、報告書を刊行するまでの一連の業務である。市内で開発行為が行われる際に発生する業務であるため予定を立てることは難しく、発掘現場が重複すれば、他の業務が後回しになる。一連の業務を確実に遂行するため、業務の一部を委託するなど、業務の効率化に向けて見直しを図る必要がある。また、国指定史跡新堂廃寺跡については、市が管理団体になったため、史跡の維持・安全管理を実施するとともに、新堂廃寺跡等保存活用計画の策定に向けて、委員会を開催していく。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>①埋蔵文化財発掘調査業務の推進・文化財保護法に基づき埋蔵文化財を保護し、発掘調査成果の記録保存に係る一連の業務の遂行に努める。</p> <p>②史跡新堂廃寺跡等保存活用計画策定に向けた委員会の開催と、史跡整備に係る問題解決のために整備事例を研究するとともに(全国史跡整備市町村協議会会議に出席)、当該史跡に関する普及啓発を進める。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	柳田 兼利

■対象事業

事業番号	092513	事業名称	寺内町保存事業
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶ (個別施策29) 自然・歴史環境の保全
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 寺内町保存事業

事業目的	富田林寺内町の歴史的町並みの保存を推進し、地元組織や関連団体と連携しながら、町全体の活性化を図る。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	3,735	6,978		
	決算	3,333			

事業概要	富田林寺内町内の景観照明灯や公園の維持管理をはじめ町並み保存に係る業務、寺内町の活性化に向けた普及啓発事業、伝統的建造物群保存審議会の開催等。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	富田林寺内町への来訪者数(じないまち交流館来館者数) ※年間	→	単位	予定	37,000	37,000	37,500	37,500
				実績	12,732			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 38,000 人)				
成果指標2	重要伝統的建造物群保存地区の面積(国選定)	→	単位	予定	13	13	13	13
				実績	13			
				【 ha 】 (令和8年度目標値 → 13 ha)				
活動指標1	伝統的建造物群保存審議会開催回数(年間)	→	単位	予定	3	3	3	3
				実績	2			
活動指標2	富田林寺内町4施設でのイベント開催回数(年間)	→	単位	予定	190	190	190	190
				実績	80			
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	富田林市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づき寺内町保存事業を行っている。富田林寺内町の歴史的町並み保存を推進するためには、欠かすことの出来ない事業である。		歴史的町並み保存を推進する目的で普及啓発事業を実施する場合、内容によっては、補助金を得られる可能性がある。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	景観照明灯補修業務や除草業務など、既に委託できる範囲は委託している。		国民共有の財産である国選定重要伝統的建造物群保存地区「富田林寺内町」を後世へ確実に継承するための事業であり、自治体が行うべき事業である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	<p>歴史的町並みや古民家に注目が集まる反面、富田林寺内町への来訪者数はコロナ禍以前から減少傾向にあるとともに、地区内では高齢化や空き家問題、大型町家の老朽化・取り壊し、文化財保存に対する住民意識の低下、建物維持費の負担など、様々な問題が発生している。これまでの現状維持という考え方では歴史的町並みが消滅する可能性がある事から、歴史的町並みの保存と活性化に向けて、より効果的な取り組みが必要である。</p> <p>旧杉山家住宅や旧田中家住宅等の所管施設について、利用者の快適な利用のため適切に修繕を行っていく。</p>
-----------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>地元組織や関連団体と連携しながら、富田林寺内町の歴史的町並み保存を推進し、町全体の活性化を図る。</p> <p>①富田林寺内町の町並み保存に係る業務・富田林寺内町の町並み保存のため、町内の生活環境の維持に努めるほか、建築意匠等の資料保存を図り、図面作成のための環境を整える。準防火地域である伝建地区の歴史的街並みや景観を保全するため、地区内の建築許可基準に基づき建築行為をする建物について、建物から20m以内に2号消火栓の設置が必要となったため(「富田林伝統的建造物郡保存地区保存条例の制限の緩和に関する条例」平成30.10.1改正)、必要に応じて、2号消火栓設置費用を予算計上していく。</p> <p>②寺内町活性化事業 行政視察等の寺内町案内及び文化財課管理施設やじないまち散策絵図を活用し、普及啓発を行う。</p> <p>③地元組織他との協働事業・連携・協力し、国の重要文化財興正寺別院修理事業着工に向けた取り組みや、大型町家等の利活用及び空き家対策事業の推進を図っていく。</p> <p>④寺内町内にある景観照明灯の内、57wの電球の製造が終わったことから今後電球切れによる補修ができなくなるため、計画的(令和6年度までの3カ年)に景観照明灯のLED化を進めていくための予算を計上していく。</p> <p>⑤富田林寺内町の保存地区は木造建築が密集しているため、火災に対して脆弱である。また、壁量が十分でないものや、壁の配置に偏りがあるものなど、耐震性能を十分に満たしていないものもあるため、それぞれの建造物の耐震性能を的確に把握し、文化財的な特徴に配慮しつつ、適切な耐震補強を講じる事が求められる。このため、保存地区の個別課題を整理しつつ、総合的な防災対策・体制の充実と強化を図るため、防災計画を策定していく。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	柳田 兼利

■対象事業

事業番号	092514	事業名称	歴史資料保存活用事業
------	--------	------	------------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶ (個別施策29) 自然・歴史環境の保全
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 歴史資料保存活用事業

事業目的	市民の文化財保護意識を高めるため、埋蔵文化財や古文書、民俗資料等の歴史資料の整理・保存及び活用を図り、文化財の普及啓発に努める。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	6,599	19,439	
		決算	8,156			

事業概要	埋蔵文化財センターの管理・運営、歴史資料の整理・保存、歴史資料を活用した展示・講演会等の普及啓発事業等。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	講演会(出前講座含む)参加者数(年間) ※ただし、寺内町関連テーマを除く	→	単位	予定	450	450	450	450
				実績	17			
【人】 (令和8年度目標値 → 450人)				予定	32,000	32,000	32,000	32,000
成果指標2	文化財課ウェブサイト閲覧数	→	単位	実績	48,423			
				【人】 (令和8年度目標値 → 32,000人)				
活動指標1	展示・講演会(出前講座含む)等の開催回数(年間) ※ただし、寺内町関連テーマを除く	→	単位	予定	8	8	8	8
				【回】 実績	1			
活動指標2	市広報連載サロン掲載件数	→	単位	予定	2	2	2	2
				【回】 実績	3			
活動指標3		→	単位	予定				
				【 】 実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				【 】 実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	市内の貴重な歴史的資源である文化財を次世代へ継承していくためには、市民の文化財保護意識を高めることは必須であると考えており、欠かすことの出来ない事業である。		現在のところ、補助金交付要件に適合する事業対象がない。
事業の委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	△:適正でない
	埋蔵文化財センターにおいて事業運営をしているわけではなく、発掘調査の整理作業場、遺物の収蔵庫として使用しているため、委託の可能性はない。		講演会やワークショップ等を実施する際、受講者へ配布する資料や材料費用について、受益者負担を検討していく。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	<p>新型コロナウイルスの影響により展示、講演会の開催が限られる中、新しい生活様式のもと、家に居ながら富田林の文化財を学べるデジタルアーカイブのコンテンツ充実を図っていく。</p> <p>また、当課が保管している古文書や民具、遺物などの歴史資料の保存環境を改善し、適正管理に向けて取り組む必要がある。</p>
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>①歴史資料の整理保存と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腐食が進む鉄器類や木製品の保存処理を実施し、保存環境を改善する。 ・古文書や民具等の歴史資料の整理保存を継続して進めるとともに、市指定文化財の記録保存と活用を図る。 ・引き続き、富田林の文化財を学べるデジタルアーカイブや文化財課ウェブサイトのコンテンツ充実を図っていくとともに、市内の公共・民間施設を活用した巡回展を実施し、市内の文化財の魅力に触れる機会を増やしていく。
-------------------	---

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	柳田 兼利

■対象事業

事業番号	093536	事業名称	文化財施設管理事業
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり (個別施策29) 自然・歴史環境の保全	▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
------	---	-------------------------

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 文化財施設管理事業

事業目的	富田林寺内町や周辺に位置する文化財施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場、旧田中家住宅)の特色を最大限に生かしながら一体的に維持管理、運営することで、多くの人で賑わい、交流が生まれる機会を創出する。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	34,427	35,590	
		決算	34,996			

事業概要	富田林寺内町4施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場)は指定管理制度により指定管理者が管理運営を行い、また、登録有形文化財旧田中家住宅は、文化財課が直営で管理運営を行っている。市民の文化的活動の場として、施設の一般公開及び貸出しを行っている。また、様々なイベントを開催し、文化財の活用を図っている。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	富田林寺内町への来訪者数(じないまち交流館来館者数)	→	単位	予定	37,000	37,000	37,500	37,500
				実績	12,732			
			【人】	(令和8年度目標値 → 38,000人)				
成果指標2	旧杉山家住宅の入館者数	→	単位	予定	11,800	11,900	11,900	12,000
				実績	6,518			
			【人】	(令和8年度目標値 → 12,100人)				
活動指標1	富田林寺内町4施設でのイベント開催回数(年間)	→	単位	予定	190	190	190	190
				実績	80			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他) 伝統的建造物群保存地区内の歴史的町並み保全を図るためには、欠かすことの出来ない事業である。	新たな財源の検討	○:得られるものはない 令和2年度より富田林寺内町内に位置する4施設一括で指定管理者制度を導入し、それを機に部屋貸出しを有料化している。その他の財源は見込めない。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済) 指定管理者制度を導入しており、できる範囲は委託済みである。	受益者負担の適正さ	○:適正である 貸館の利用料金については、他施設を参考に設定し、条例で規定しているため適正である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	<p>富田林寺内町4施設は一括での指定管理者制度を導入しており、指定事業による歴史文化の講演や賑わいづくりイベントの開催を行うことで富田林寺内町の普及啓発を図ることが出来た。コロナ禍により来訪者数は減少したが、令和3年度はやや回復している。引き続き、SNS等で効果的な情報発信に努める。</p> <p>旧田中家住宅は、公開施設であり、施設の貸し出しを実施している。施設利用者の安全や快適性の確保が必須であるため、改修が必要な箇所については適切に行っていく。</p> <p>寺内町施設の今後の管理運営については庁内部会等に諮りながら検討していく。</p>
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>①富田林寺内町4施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場)の管理運営 ・令和5年度より、第2期目の指定管理者による5ヶ年の管理運営が開始される。指定管理者による民間のノウハウを活かした事業や普及啓発を積極的に行い、より効果的な運営をしていく。</p> <p>②登録有形文化財旧田中家住宅及び寺内町施設・資料倉庫の管理運営業務 ・施設を適切に維持管理し、運営していく。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	柳田 兼利

■対象事業

事業番号	094512	事業名称	寺内町整備事業
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶ (個別施策29) 自然・歴史環境の保全
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 寺内町整備事業

事業目的	伝統的建造物群保存地区内における伝統的建造物の修理及び一般建造物の修景の補助を行うことによって、歴史的町並みを保全していく。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	24,168	20,091		
	決算	22,004			

事業概要	伝統的建造物群保存地区内の建築物等の修理・新築・改築等における現状変更行為に関する受付及び許可、並びに、内容相談及び技術指導。※令和元年度より「街なみ環境整備事業」を含めて事業を一本化
------	--

■実施(DO)

成果指標1	富田林寺内町への来訪者数(じないまち交流館への入館者数)	→	単位	予定	37,000	37,000	37,500	37,500
				実績	12,732			
				【 人 】 (令和8年度目標値 → 38,000 人)				
成果指標2	修理・修景物件の件数	→	単位	予定	13	13	13	13
				実績	4			
				【 件 】 (令和8年度目標値 → 13 件)				
活動指標1	現状変更の許可件数	→	単位	予定	16	16	16	16
				実績	13			
活動指標2	伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金交付金額	→	単位	予定	30,000	30,000	30,000	30,000
				実績	22,004			
活動指標3	修理・修景施設整備費補助金交付金額	→	単位	予定	15,000	15,000	15,000	15,000
				実績	0			
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな財源の検討	○:得られるものはない
	伝統的建造物群保存地区内の歴史的町並み保全を図るためには、欠かすことの出来ない事業である。		国(文化庁)の随伴補助を受けて実施している事業であり、その他の財源はない。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担の適正さ	○:適正である
	一部委託は可能であるため、設計業務及び工事監理については委託する事で、業務の省力化・効率化を図っていく。		伝統的建造物群保存地区保存補助金交付要綱及び街なみ環境整備事業補助金交付要綱に基づき、伝建地区内の伝統的建造物他の修理修景等補助を行っている。国(文化庁・国土交通省)の随伴補助であり、補助率(補助限度額)については、他自治体と比して適正であるとする。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	伝統的建造物群保存地区内では、世帯主の高齢化、空き家問題、伝統的建造物の維持困難、大型町家の老朽化、文化財保存に対する住民意識の低下など様々な問題が発生している。これまでの現状維持という考え方では歴史的町並みが消滅する可能性がある事から、修理修景事業においても、積極的に取り組んでいく必要がある。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>伝統的建造物等の修理修景事業について、待機者が出ないよう速やかに実施し、伝統的建造物などの歴史的な町並み保全を進めることで、富田林寺内町の文化財的価値の向上を図っていく。</p>
-------------------	--

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	柳田 兼利

■対象事業

事業番号	094514	事業名称	文化財施設整備事業
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶ (個別施策29) 自然・歴史環境の保全
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 文化財施設整備事業

事業目的	富田林寺内町や周辺に位置する文化財施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場、旧田中家住宅、寺内町施設、資料倉庫)の施設整備や老朽化した施設の改修、備品購入を行う。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	0	5,000		
	決算	0			

事業概要	施設整備や老朽化した施設の改修、備品購入を行う。
------	--------------------------

■実施(DO)

成果指標1	施設整備や老朽化した施設の改修、備品購入を行う事業である為、成果指標の設定になじまない。	→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績				
			[]	(令和8年度目標値 →)				
成果指標2		→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績				
			[]	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1		→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績				
活動指標2		→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績				
活動指標3		→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績				
活動指標4		→	単位	予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	富田林寺内町4施設が令和2年度より一括で指定管理制度を導入したことや、旧田中家住宅、寺内町施設、資料倉庫の新たな利活用に取り組むことから、今後も更なる利用者数の増加が見込まれ、安心・安全な施設運営の観点から事業の必要性は高いと考える。		施設整備の一部に文化庁の補助金交付を受けることは可能であるが、その他の財源はないと考える。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	施設整備に係る設計業務などは、委託可能であると考える。		貸館の利用料金については、他施設を参考に設定し、条例で規定しているため適正である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	公開施設であるため、利用者の安全や快適性の確保が必須であり、施設改修を適時実施する。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>①指定管理者による施設管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開施設であるため、利用者の安全や快適性の確保が必須であり、施設改修を適時実施する。 <p>【旧杉山家住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北蔵天井収納式階段の設置 <p>北蔵に屋根裏部屋があることが分かり、歴史資料類の収納場所や作業場等として有効活用したいと考えている。しかし、梯子を立てかけて上がるほかなく、安全面において大変危険であることから、天井収納式階段を設置したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北蔵東側上部フサギ板設置工事 <p>文化財課では大量の歴史資料を市内各所にて保管している。今後はそれらの歴史資料を活用し、これまで以上に普及啓発を図っていきたいと考えているが、外壁上部に開口部があり、風雨が入ってくるため、収納・展示場所として適していない。旧杉山家住宅に関する歴史資料は同じ敷地内で保管する等、適材適所にて収納場所を確保できれば効率的に活用を図れると考えている。</p> <p>【じないまち交流館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内装改修工事 <p>現在、施設の2階に上がるには、1階の階段室前で靴を脱ぎ、2階の下駄箱まで持って上がらなければならない。施設利用者の中には高齢者も多く、転倒し怪我をする危険性があることから、2階の下駄箱まで土足で上がれるよう内装の改修工事を行いたい。</p>
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月16日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	092551	事業名称	公民館運営審議会事務
------	--------	------	------------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進	▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
------	---	-----------------------

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 公民館費		(小事業) 公民館運営審議会事務

事業目的	公民館が各種社会教育事業を実施するにあたり、その運営が有効適切に行われることを目的とする	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	111	111	
		決算	53			

事業概要	公民館運営審議会は、館長の諮問機関として、館長からの諮問に対して答申を行うほか、公民館が行う各種事業、及び公民館運営全般について調査・審議を行う。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	館長の諮問機関であるため、成果指標の設定はできない	→	単位	予定				
				実績				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標1	運営審議会開催回数	→	単位	予定	2	2	2	2
				実績	1			
活動指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標3		→	単位	予定				
				実績				
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(その他)	新たな 財源の検討	×:検討していない
	利用者や各種社会教育団体、学識経験者等それぞれの立場から公民館事業を審議して、今後の公民館のあり方等を諮問する機関として実用性は高い。		館長の諮問機関であるため該当しない。
事業の委託可能性	×:委託できない(法的課題)	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	館長の諮問機関であるため該当しない。		館長の諮問機関であるため該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	公民館で行う各種事業の報告及び計画だけでなく、公民館が抱えている課題や諸問題について活発な意見が出されるようになってきていますが、現状の2回(事業報告、事業計画)だけでは意見の集約や今後に向けての提言、社会教育方針についての意見・提言が困難なため、研修会等を別途開催するなど検討する必要があります。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>公民館運営審議会は、館長の諮問機関であり、公民館の課題や諸問題について審議し、今後に向けた公民館のあり方、事業の方向性を提示していただくことを目的とした会議であり、その開催回数等については、ある程度フレキシブルに対応するべきと考えます。</p>
-------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月16日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	092553	事業名称	金剛公民館事業
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 公民館費		(小事業) 金剛公民館事業

事業目的	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	4,813	5,043		
	決算	5,433			

事業概要	金剛公民館主催講座の実施 金剛公民館クラブ連絡会の育成 金剛公民館施設管理業務
------	---

■実施(DO)

成果指標1	公民館における市民企画の講座開催回数 (クラブ自主講座・市民企画講座等含む)	→	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				25	26	27	27
成果指標2		→	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
活動指標1	主催講座の延べ学習者数	→	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1,730	1,730	1,730	1,730
活動指標2	主催講座の開催延べ回数	→	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				94	94	94	94
活動指標3	クラブ連絡会加盟クラブ員数	→	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				970	970	970	970
活動指標4		→	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	気軽に集い学べる社会教育施設である公民館事業の維持・発展は、居住の魅力ある地域づくりへと繋がるものであり、今後地域の高齢化や少子化に効率的に対応する資源となる事業です。		施設利用の一部有料化(空調機使用料等を含む)は、市の財源のプラスとしてよりは社会教育機会の制限と捉えられるなど、市のセールスポイントにマイナスと働くと考えます。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	人件費の高騰及び管理部署への職員配置を必要とする指定管理者制度より、現在の会計年度任用職員の導入体制を充実させ、社会教育に関する知識・経験・意欲のある人材登用を積極的に進めるべきと考えます。		公民館活動を公益活動へと充実させていく方を推進するべきであり、画一的な受講料や使用料の徴収は社会教育機会の減少を招く恐れがあります。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	昭和58年開館以来大規模な改修工事を行っておらず、市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を計画的に進める必要があります。地域人口の高齢化に対応したバリアフリー化を進め、地域での子育て環境や高齢者の生きがい増進に寄与する事業の推進、更に地域づくりに積極的に参加する人材の育成を図る事業の推進を行います。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

]

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>市民が安全・安心して使用できる施設、設備、備品の計画的な改修、更新が必要です。</p> <p>①空調機器、机・椅子など設備・備品の改修・更新 ②バリアフリー化(エレベーターの設置、トイレの改修など)</p>
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月16日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	092554	事業名称	東公民館事業
------	--------	------	--------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 公民館費		(小事業) 東公民館事業

事業目的	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	18,896	23,952		
	決算	18,382			

事業概要	東公民館主催講座の実施 東公民館クラブ連絡会の育成 東公民館施設管理業務
------	--

■実施(DO)

成果指標1	公民館における市民企画の講座開催回数 (クラブ自主講座・市民企画講座等含む)	→	単位	(現年)				
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
活動指標1	主催講座の延べ学習者数	→	単位	予定	1,570	1,570	1,570	1,570
				実績	456			
活動指標2	主催講座の開催延べ回数	→	単位	予定	105	105	105	105
				実績	39			
活動指標3	クラブ連絡会加盟クラブ員数	→	単位	予定	530	530	530	530
				実績	382			
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	市民にとって身近な社会教育施設である公民館で行われる事業は、幅広い年代層が気軽に参加し、学習を通じたコミュニケーション作り等に寄与するものであり、市民生活の充実にとって必要不可欠なものです。		一部講座や駐車場の有料化及び空調運用時の使用料が想定されますが、収入面より施設利用の足かせになる危険性が高いと思われます。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	有料の事業面では収益を上げるために偏った事業運営になりがちであり、本来公民館の果たす人権や家庭教育など市民ニーズからかけ離れる可能性があります。		公民館活動は、活動の成果を広く市民・地域社会に還元する事業であり、活動参加者に負担を求めべきではないと考えます。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を進める必要があります。 空調機等施設が老朽化し、貸し出しできない状態に陥る可能性があります。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事 項等を踏まえ た要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を進める必要があります。 ①空調機器、机、椅子などの設備、備品の更新が必要です。 ②バリアフリー化(エレベーターの設置、トイレの改修など)
---------------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月16日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	093503	事業名称	中央公民館事業
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 公民館費		(小事業) 中央公民館事業

事業目的	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	24,630	28,349	
		決算	24,005			

事業概要	中央公民館主催講座の実施 中央公民館クラブ連絡会の育成 中央公民館施設管理業務
------	---

■実施(DO)

成果指標1	公民館における市民企画の講座開催回数 (クラブ自主講座・市民企画講座等含む)	→	単位	予定	25	26	27	27
				実績	8			
			【 回 】	(令和8年度目標値 → 28 回)				
成果指標2		→	単位	予定				
				実績				
			【 回 】	(令和8年度目標値 →)				
活動指標1	主催講座の延べ学習者数	→	単位	予定	3,550	3,550	3,550	3,550
				実績	1,593			
活動指標2	主催講座の開催延べ回数	→	単位	予定	225	225	225	225
				実績	129			
活動指標3	クラブ連絡会加盟クラブ員数	→	単位	予定	950	950	950	950
				実績	744			
活動指標4		→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	市民にとって身近な社会教育施設である公民館で行われる事業は、幅広い年代層が気軽に参加し、学習を通じたコミュニケーション作り等に寄与するものであり、市民生活の充実にとって必要な事業です。		一部空調機運用や駐車場利用、調理実習のガス・水道料金の有料化が考えられますが、空調機の更新が必要であり、施設利用の足かせとなる可能性があります。
事業の 委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	事業面で社会教育主事等専門職員の配置が必要ですが、そのノウハウを持った会計年度任用職員を活用するなど社会教育に関する知識・経験・意欲のある人材登用を積極的に進めるべきだと考えます。		公民館活動自体は、活動の成果を広く市民・地域社会に還元する事業であり、活動参加者に負担を求めるべきではないと考えます。

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	公民館の全体の利用者数は、人口減に伴って減少傾向にあります。少子高齢化に対応して本市の魅力を引き出すような事業を展開していきます。 施設面では、建物及び各種備品の老朽化が進んでいるので、安全な施設整備とバリアフリー化が課題です。
---------------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 安全・快適に利用してもらえるよう、設備・備品の更新が必要です。 また子どもから高齢者まで気軽に集い学べる環境づくりのため、エレベーターの設置等のバリアフリー化が必要です。
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 中央図書館
評価者	山本 一夫

■対象事業

事業番号	092561	事業名称	中央図書館事業
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 図書館費		(小事業) 中央図書館事業

事業目的	図書館法に基づき、生涯学習の拠点施設として、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に役立つ図書館資料や情報を収集・保存し提供する。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	25,537	26,654	
		決算	25,036			

事業概要	市民の生活や活動の支援、生涯学習支援、学校図書館支援、地域文化情報・歴史情報の収集・蓄積・発信、図書館協議会及び活動団体との連携・協働。また、「富田林市子ども読書活動推進計画」の推進、乳幼児、児童、高齢者、障がい者、外国人の利用者サービスの充実、近隣図書館間の広域相互利用の推進など市民の読書環境の整備に努める。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	市民一人当たりの貸出冊数 (貸出冊数÷人口)	→	単位	予定	7	8	8	8
				実績	5			
				【 冊 】 (令和8年度目標値 → 8 冊)				
成果指標2	中央図書館貸出数(分室・自動車文庫含む)	→	単位	予定	332,920	333,945	334,765	335,585
				実績	230,294			
				【 冊 】 (令和8年度目標値 → 337,020 冊)				
活動指標1	新規登録者数	→	単位	予定	2,105	2,084	2,063	2,042
				実績	1,548			
活動指標2	自動車文庫の巡回ステーション数	→	単位	予定	13	13	13	13
				実績	13			
活動指標3	自動車文庫の年間巡回回数	→	単位	予定	285	282	279	297
				実績	279			
活動指標4	設定なし レファレンス	→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	総合ビジョン及び総合基本計画において、市民の生涯を通じた学びの推進を実現するための施策として「図書館サービスの充実」を明記。根拠法令:図書館法第10条公共図書館の設置及び運営の望ましい基準(1総則(2)設置の基本)等		既に雑誌スポンサー制度を導入しており、新たなスポンサーの確保・拡充に努めている。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担の適正さ	○:適正である
	委託可能な業務(図書の装備、自動車文庫等車両運転業務、予約図書等受渡業務)は既に委託済。他部署との連携や市民との協働など委託ではできない業務が多く、経験を要する業務については非効率的。市の方針として図書館は直営での運営とされており、カウンター業務等は、会計年度任用職員を最大限活用している。		図書館法第17条:公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	<p>・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る緊急事態宣言が発令され約2ヶ月に及ぶ臨時休館を余儀なくされた。臨時休館が長期にわたり、業務縮小せざるを得ず利用者数・貸出冊数が激減し、成果指標などは目標達成にはおよばなかった。</p> <p>・臨時休館中は野外で予約図書のお渡しのみ対応をした。また、自動車文庫の巡回については、予定どおり行うことが出来た。開館後も返却図書の拭き取り消毒やガイドラインに基づく感染防止対策など業務に追われた。</p> <p>・例年開催している行事については、感染状況を鑑みながら、行事内容により実施をした。</p> <p>・富田林駅から近いというアクセス面の利便性からも高齢者の利用が多い館である。ゆえに、窓口での個々の対応(レファレンス)等にかかなりの時間がとられており、住民サービスの低下がみられることから、適正な人員配置が必要である。</p> <p>・昭和51年開館であり、この間には耐震補強工事や館内設備のリニューアルなども行われてきたが、閲覧室は狭く、2階の事務室や書庫スペースに蔵書が溢れている。図書資料等の置き場の確保・整備を行いつつ、新たな図書館建設を考えるべきである。</p> <p>・大規模災害発生時の避難場所と指定されているが、エレベーターはもとよりスロープさえなく、高齢者・障がい者・乳幼児を連れた方にとつて配慮された公共施設であるとはいえない。</p>
-----------	---

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>【職員体制】 中央図書館は、正職員4名・会計年度任用職員の非常勤職員4名・短時間非常勤職員1名～3名(登録は8名)で、平日の夜間開館、土日祝日開館、土日火曜の東分室運営、市民会館への予約図書等の受渡業務、自動車文庫巡回など、多種多様な業務を行いつつ、日々のカウンター業務のシフト組んでいることから、職員に負担が偏りシフト管理ができない日が往々としてある。そのうえ、利用者に高齢者が多いこともあり、レファレンス対応等に非常に人員が割かれていることから、適正な人員の確保を要望する。</p> <p>【図書館システム】 クラウド型図書館システムの安定的な運用に加え、個人のweb上に読了や感想の記録を残し、より読書を楽しめるよう利用者の満足度を高める付加的サービスの開始を検討している。</p> <p>【運転業務委託】 平日の朝夕の中央図書館と金剛図書館間の図書の運搬・連絡便、金剛連絡所や市民会館、東分室、エコー・ロゼの返却ポストの回収、学校図書館へのブック便、学童クラブ配本便の搬出入、自動車文庫つじ号巡回時の運転や安全確保を富田林市シルバー人材センターに委託している。(土日祝日の連絡便や返却ポスト回収は職員が担っている。)</p> <p>【災害防止対策】 2階書庫での雨漏りが継続しており、雨漏りを防ぎ建物の長寿命化を図るためには、屋根の防水工事が必要。また、各地で頻発する地震災害、大雨・暴風雨による雨漏りや浸水など自然災害のみならず、コロナ禍などの様々なリスクに対処するため、避難所指定する以上は十分な機能を持たせることは急務である。</p> <p>【ボランティアとの協働】 図書館活動を支えていただく市民ボランティア(富田林おはなしの会、乳幼児サービスボランティア、朗読ボランティアグループくさぶえ)との協働のため、人材を育成・スキルアップし、確保するための講座開催については継続が必要。</p> <p>【労働安全衛生】 昭和51年の開館当初から設置されている貨物昇降機については保守も切れ、修繕用の部品の調達も難しい状況。スロープやエレベーターなど代替手段のない中で、毎日の1階事務室・閲覧室から2階書庫への図書等の移動には昇降機が不可欠。箱詰めした図書やブックトラックに積載した図書を職員が抱えて階段で上り下りするには常に危険が伴い、労働安全衛生面からも更新を要望する。</p> <p>【電子図書館】 コロナ禍で非来館型の図書館利用の需要も高まる中、魅力あるコンテンツの不足と高額なランニングコストの負担の面で本市では導入に踏み切れていない。将来的には導入は必要と認識しており、PC・スマートフォン・タブレットなど端末を持たない利用者への支援も視野に入れながら引き続き検討していく。また、既に市のWebサイト上で公開されている行政資料についても、担当部署での公開年限を超えたデータを保存公開していくための調整が必要。</p>
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 中央図書館
評価者	山本 一夫

■対象事業

事業番号	092562	事業名称	図書館資料整備事業
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育	▶ (3) 学び続けるための環境づくり
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進	

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 図書館費		(小事業) 図書館資料整備事業

事業目的	図書館法の理念に基づき、生涯学習の拠点施設として、収集方針に基づいた幅広い分野の図書館資料を収集し、整え、あらゆる年代の市民に情報の提供に努める。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	19,332	19,140		
	決算	19,332			

事業概要	社会の様々な変化に伴い、高度化、多様化する市民の学習意欲、利用者のニーズに対応するため、収集方針に基づき地域行政資料や様々な分野の資料の収集に努め、学校への支援、広域利用にも対応し、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に新鮮で、楽しく、役立つ資料を提供する。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	市民一人当たりの貸出冊数 (貸出冊数÷人口)	→	単位	予定	7	8	8	8
				実績	5			
				【 冊 】 (令和8年度目標値 → 8 冊)				
成果指標2	図書館貸出数	→	単位	予定	812,000	814,500	816,500	818,500
				実績	585,511			
				【 冊 】 (令和8年度目標値 → 822,000 冊)				
活動指標1	蔵書数(図書及び視聴覚資料)	→	単位	予定	305,000	305,000	305,000	305,000
				実績	301,947			
活動指標2	新規蔵書数(年度内受入数)	→	単位	予定	11,110	11,000	11,000	11,000
				実績	11,662			
活動指標3	設定なし	→	単位	予定				
				実績				
活動指標4	設定なし	→	単位	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	総合ビジョン及び総合基本計画において、市民の生涯を通じた学びの推進を実現する施策として「図書館サービスの充実」を明記。生涯学習推進プランでも、多様な資料の収集提供と市民の読書活動や調べものの支援を行い、読書を通じて市民の様々な学習活動に役立てるため、図書館資料の充実が根幹をなす。		ふるさと寄附金で用途が限定され充当された年度があった。書店を通じた匿名の寄贈申し出や利用者からの読了後図書の寄贈なども受付けている。
事業の 委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	図書等購入費のなかで、資料の装備を委託している。		図書館法第17条:公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならない。

■改善事項(ACTION)

<p>事業の評価 及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、一般書7,716冊、児童書3,099冊、視聴覚資料270点、合計11,085点の図書館資料を購入し、あらゆる世代の利用者への情報提供に努めるため幅広い分野の図書館資料の収集に努めた。今後も社会情勢の変化や市民のニーズを的確に把握し、利用者の学習意欲に応えながら、本の文字の読みづらい方への大活字本や朗読CD、LLブックの入手・提供に努めたい。 ・希望の多かった学習まんがについては日本の歴史シリーズ・世界の歴史シリーズなどを購入し、子どもたちの読書意欲の喚起に繋がる資料の選書に努めた。 ・小学校から英語教育が開始されたことに伴い、簡単な英語から絵本で次々に学習できる「英語多読」セットも購入し提供している。 ・情報の古くなった資料や汚損・破損により提供できなくなった資料は除籍を行っているが、郷土・行政資料など除籍できない蔵書も年々増えていくため、書庫スペースが不足している。リサイクル可能な除籍本は保育園・幼稚園・学校関係部署、市民会館などに活用いただいている。
-----------------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

<p>評価・改善事項等を踏まえた要望内容</p>	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>【資料収集方針】 公立図書館の任務は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に資料を提供することであり、この任務を果たすため、「図書館法」ならびに「図書館の自由に関する宣言」の理念に基づき、市民の資料要求を反映させ、市民の文化、教養、調査、研究、趣味及び娯楽等に資する資料を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化・高度化する市民の読書要求に応えるべく、あらゆる世代に向けた幅広い資料を収集し情報提供に努める。 ・高齢者や文字を読みづらい方の利用促進・健康の増進のため、大活字本・朗読CDなどの充実に努める。 ・子ども読書活動を推進するため、あかちゃん絵本や児童書の充実、学校図書館や学童クラブへの配本、調べ学習への支援に役立つ資料の収集に努める。 ・地元でしか収集できない地域資料や行政資料を責任をもって収集・整理・保存し、市民に役立つ情報を提供する。
--------------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 中央図書館
評価者	山本 一夫

■対象事業

事業番号	092565	事業名称	ブックスタート事業
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 図書館費		(小事業) ブックスタート事業

事業目的	「子ども読書活動の推進に関する法律」「富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいた子どもの読書環境の整備を進めると同時に、乳幼児期の段階から保護者に対する読書啓発を図り、将来の子どもの豊かな心の成長を育む読書習慣につなげることを目的とする。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	619	593		
	決算	616			

事業概要	子育て支援の一助として、健康づくり推進課と連携し、4か月児健康診断時に乳児に絵本を配布し、同時に保護者に対して、乳幼児との絵本を通じたふれあいの大切さと必要性を伝え、図書館の利用案内、フォローアップ事業の「あかちゃんのおはなし会」の紹介をする。待ち時間を利用して、乳幼児ボランティアと協働して親子に絵本のよみきかせを行う。
------	---

■実施(DO)

成果指標1	0歳児一人当たりの小さい絵本(乳幼児向け)の貸出冊数 (小さい絵本の貸出冊数÷0歳児の人口)	→	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				42	43	44	45
成果指標2	フォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」の参加人数	→	単位	722	722	722	722
				230			
活動指標1	受診対象乳児への絵本の配布率(受診時+受診外配布率)	→	単位	100	100	100	100
				85			
活動指標2	配布冊数	→	単位	695	650	675	668
				516			
活動指標3	フォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」の実施回数	→	単位	72	72	72	72
				38			
活動指標4	設定なし	→	単位				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	ブックスタート事業は、「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいた子育て支援の一環であり、乳幼児期からの言葉の大切さ、絵本をとおした親子のふれあいが将来的には子どもの読書習慣の確立に繋がることから、4か月児健診という受診率の高い事業と連携することにより充分な効果を得ることができる。		広告入り無償パンフレットの提供を受けることで印刷製本費の削減に努めている。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担の適正さ	○:適正である
	ブックスタート事業に協力していただく乳幼児サービスボランティアは、人材育成講座で養成・スキルアップ・確保に努めている。図書館主導の連絡会を通じて事業への理解を深め、ボランティアとの協働で実施している。		ブックスタート事業は子育て支援の一環として実施する図書館事業の一つである。図書館法第17条:公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進課との連携により、受診率の高い4か月児健診の待ち時間に図書館から絵本をプレゼントし、乳幼児期からの絵本を仲立ちとした親子のふれあいの大切さ、言葉かけ、手遊びなどを通じて啓発をおこなっている。 ・コロナ禍により保健センターでの健診を避け、かかりつけの小児科での受診をされる方には、保健センターからの通知文書に図書館での絵本配布も盛り込んでいただき、直接来館される方も増えた。 ・ブックスタート事業に先がけ、妊娠届をされ母子健康手帳を交付される際には「もうすぐママになられる方へ」と題した絵本のリーフレットをお渡しし、図書館でのフォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」で0歳児・1歳児・2歳児のグレード別のおはなし会を開催しているが、コロナ禍での臨時休館で開催回数は減り、開催時も「三密」を避けて通常の数から半減させたため、参加者数も減少し目標達成に至らなかった。
-----------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>【事業の継続について】 ブックスタート事業を通じ、子どもの読書活動の推進・子育て支援に繋げるものであり今後も重要な施策と考える。</p> <p>【配布絵本の選定】 3種類の絵本から1冊を選んでいただき、プレゼントしている。親子で楽しめる絵本で価格・内容から検討しているが、単価は上がっており、良書の選定に努めている。</p> <p>【配布物の印刷】 ブックスタート用カラーパンフレットは広告入りの無償パンフレットの提供を受けているが、図書館の利用案内・おはなし会等のカレンダー、こども文庫の紹介などの他、市の子育て支援関係の資料も配布している。</p> <p>【ボランティアとの協働】 コロナ禍の中での開催となって以来、できるだけ人数を絞った状態でのブックスタート事業となったため、乳幼児サービスボランティアは4か月児健診には参加せず、現状としては未だに、図書館で行う「あかちゃんのおはなし会」「おはなし会」での協働のみとなっているが、ワクチン接種も終わり、コロナが一定収束した後は、再びボランティアとの協働が再開されるため、今後も人材育成や確保のための講座開催(中央図書館事業)が必須である。</p>
-------------------	--

令和4年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 金剛図書館
評価者	道旗 秀

■対象事業

事業番号	093506	事業名称	金剛図書館事業
------	--------	------	---------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 図書館費		(小事業) 金剛図書館事業

事業目的	図書館法に基づき、生涯学習の基本的施設として図書館資料を収集し、市民に情報を提供する。市民の知る権利を保障し、社会の要求に沿ったサービスを展開することで、市民の幸せに寄与する。	(現年)				
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		事業費 (単位:千円)	当初予算	28,803	28,053	
		決算	28,074			

事業概要	すべての市民が利用しやすい図書館をめざし、読書環境の整備に努め、複合施設の維持管理も担当している。中央図書館のコンピュータシステムと図書購入費を共有・利用して全市的なサービスを行う。①学習支援 ②市民生活と活動の支援 ③地域文化情報・歴史情報の収集・蓄積・発信 ④障がい者サービス ⑤子どもの読書活動支援 (根拠法令等)図書館法 子どもの読書活動推進に関する法律 文字・活字文化振興法
------	--

■実施(DO)

成果指標1	市民一人当たりの貸出冊数(貸出冊数÷人口)	→	単位	(現年)			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度
			予定	7	8	8	8
			実績	5			
			【 冊 】	(令和8年度目標値 → 8 冊)			
成果指標2	金剛図書館貸出冊数	→	単位	(現年)			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度
			予定	479,080	480,555	481,735	482,915
			実績	355,217			
			【 冊 】	(令和8年度目標値 → 484,980 冊)			
活動指標1	新規登録者数	→	単位	(現年)			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度
			予定	2,105	2,084	2,063	2,042
			実績	1,548			
			【 人 】				
活動指標2	設定なし	→	単位	(現年)			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度
			予定				
			実績				
			【 】				
活動指標3	設定なし	→	単位	(現年)			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度
			予定				
			実績				
			【 】				
活動指標4	設定なし	→	単位	(現年)			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度
			予定				
			実績				
			【 】				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必要性が高い(法的必要性)	新たな 財源の検討	△:得られる可能性がある
	「総合ビジョンおよび総合計画」において、市民の生涯を通じた学びの推進を実現するための施策として「図書館サービスの充実」が明記されている。根拠法令:図書館法(第10条)、公共図書館の設置及び運営の望ましい基準(1. 総則(2)設置の基本)等		現在導入している雑誌スポンサー制度をPRし、スポンサーの拡充により提供される雑誌数増の可能性はある。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担 の適正さ	○:適正である
	既に施設管理において委託しており、中央図書館と一体で行っているブック便などの運搬業務についても委託を実施済。また、他部署との連携や市民との協働等、委託ではできない事業が多く、経験を要する業務においては非効率である。すでに会計年度任用職員を最大限に活用している。		図書館法第17条「公共図書館は、入場料その他図書館資料の利用にいかなる対価をも徴収してはならない」

■改善事項(ACTION)

事業の評価 及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は「市民に資料を提供する」基本的な役割を追求し、情報化・高齢化などの社会の変化に対応した機能の充実に努めている。 ・市民が快適に利用できる生涯学習の拠点施設として、暮らしに役立つ図書館活動を進めるとともに、団体貸出、学校図書館へ配本するブック便、学童クラブへの配本便、幼稚園つづじ号の運行、出前講座など子ども読書活動推進の取り組みも重点的に行った。 ・市役所各課(高齢介護課、健康づくり推進課、人権政策課、教育委員会等)と連携し、各課の事業テーマに沿った資料の展示・貸出を行い、市民への啓発に努めた。 ・利用者の多様性に対応した多角的な資料収集を心がけている。児童の読書への興味を喚起し読書習慣のきっかけとなるよう、学習漫画の収集を引き続き実施。超高齢化・グローバル化においても多様な資料収集に努める。 ・開館から約40年経過した館内の備品・書架の老朽化が著しく、更新の時期である。ブックラックの金属疲労、木製カウンターおよび書架の乾燥によるささくれなど経年劣化が目立ち、利用者の安全にかかわる危険性がある。
---------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>【施設的环境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在型の利用傾向や、クールシェア施設としての役割を担う図書館であるためには、快適に過ごすための環境整備が必要。空調設定温度を遵守し節電に努めているが施設の構造上、吹き抜け、ガラス張りなどの条件により盛夏・厳冬期などは現状の光熱費では利用者の室温に対しての音が聞かれる。 ・ダウンライト以外の照明についてLED化が必要。照明器具の安定器が生産終了となっており、安定器が故障した照明器具の修繕ができていない。現在閲覧室で3カ所の蛍光灯が故障のため点灯していない。加えて、蛍光管の価格が高騰し、1本の価格が従来の3倍となっている。非常灯に至っては経年劣化により館内で数カ所しか点灯せず、冬季の夕方や、夜間開館中の非常時の避難対策ができていない。 ・雨漏り、地盤沈下による浸水・害虫(ムカデ・ゴキブリ・ダンゴムシ等)の侵入、外周レンガ敷き部分(玄関前・別館への通路・南側駐輪場)の老朽化によりレンガが剥がれ、浮いている状態で、利用者がつまづくなど転倒の危険性が高く改修が急務である。 ・以上のことからLED化による光熱費の削減や、安全面を考慮した設備の改善が望まれる。 <p>【施設整備・災害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金剛図書館の施設は、大規模災害発生時の避難所に指定されているうえ、「障害者差別解消法」の観点からしても、スロープしかない状況で配慮に欠ける建築物となっている。また、不特定多数の利用を見込む公共施設のため、地震の際には利用者の安全を担保するため、書架からの資料の落下に備える必要がある。東日本大震災・熊本地震を経験した図書館により、落下防止テープを活用するなど対策の必要性が報告されており、令和3年より落下防止テープの取り付け作業を実施、令和4年度も作業を引き続き行っている。自動扉の修繕は耐用年数を経過しており、開閉時のモーター音が大きく館内利用の妨げとなっている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ガイドラインを遵守して開館している。入館者の手指消毒アルコールの年間使用量が100ℓ程度必要である。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がある。 ・1983年の開館以来使用している木製カウンターテーブルが老朽化により傷みが激しい。また、利用者のカウンター内侵入で、個人情報漏洩の恐れがあるため侵入を防止する設えでのカウンターテーブル更新を希望する。さらに、執務中の職員の安全を図ることも考慮したい。森林譲与税の活用を検討。 <p>【資料の充実】(中央図書館資料整備事業予算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サービス:加齢により、文字の本が読みづらくなっている方向けの大活字本や朗読CDなどの充実。 ・多文化サービス:外国人への、あるいは新学習指導要領施行に伴う英語教育への対応として外国語資料の充実。 ・児童サービス:(富田林市子ども読書活動推進計画をふまえて)学習漫画など資料の多様性とさらなる拡充が必要。 ・YA(ヤングアダルト)サービス:読書離れの中高校生に向けて、読書習慣のきっかけとなる若者層に魅力ある資料の充実。
-------------------	---

令和 4 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和4年9月29日
部署名	生涯学習部 金剛図書館
評価者	道旗 秀

■対象事業

事業番号	094551	事業名称	金剛図書館整備事業
------	--------	------	-----------

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進
------	---

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 図書館費		(小事業) 金剛図書館整備事業

事業目的	公共施設再配置計画に基づき、建物を維持する方針であるため、耐用年数60年以上の確保を目的とした適切な建物管理を行い長寿命化を進める。合わせてバリアフリー化の対策をすすめる。	(現年)			
			令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費 (単位:千円)	当初予算	1,300	100,900		
	決算	1,210			

事業概要	経年劣化が認められる屋根及び外壁の改修のため、改修工事を行う。障がい者用駐車スペースに屋根を設置するための設計業務。
------	--

■実施(DO)

成果指標1	施設の長寿命化のために行う事業であり、成果指標になじまない。	→	単位	予定	0	0	0	0
				実績	0			
【 〇 】 (令和8年度目標値 → 0)								
成果指標2		→	単位	予定	0	0	0	0
				実績				
【 〇 】 (令和8年度目標値 → 0)								
活動指標1	金剛公民館・図書館 屋根・外壁改修設計業務	→	単位	予定	1	-	-	-
				【 式 】 実績	1			
活動指標2	金剛公民館・図書館 屋根・外壁改修工事業務	→	単位	予定	-	1	-	-
				【 式 】 実績	-			
活動指標3	障がい者用駐車スペース屋根設置工事設計業務	→	単位	予定	-	1	-	-
				【 〇 】 実績	-			
活動指標4		→	単位	予定				
				【 〇 】 実績				

■評価(CHECK)

事業の 必要性	○:事業全体について必要性が高い(利用実績等)	新たな 財源の検討	○:得られるものはない
	長寿命化を進めるうえで、現状の雨漏りは建屋躯体の腐食の原因となるため、早急な対策が必要である。		国・府の補助金で該当するものはない。
事業の 委託可能性	○:委託できる	受益者負担 の適正さ	一:該当しない
	入札により業者委託		施設の長寿命化のために行う事業であり、受益者負担になじまない。

■改善事項(ACTION)

<p>事業の評価 及び課題</p>	<p>【屋根・外壁改修工事】再配置計画における建物方針が維持となっていることから、耐用年数60年以上の確保を目的とした適切な維持管理を実施し、長寿命化を進める。屋根の防水改修工事については、令和元年度作成の富田林市個別施設計画で令和3年度に整備の計画であったが、計画より1年延び、令和3年度に設計完了。令和4年下半期に屋根外壁改修工事の予定。雨天の際は建物内各所で常に雨漏りがみとめられ、建材の腐食、天井部の照明・スピーカー、消防設備(熱感知器)への雨水の侵襲による漏電・誤作動等の恐れがあり。計画通り工事を実施し、施設保全が図れた。</p> <p>【障がい者用駐車スペース屋根設置工事設計】図書館利用に障害のある方の利便性を高めるため、雨天時に雨に濡れることなく車両の乗り降りができるようバリアフリー化をすすめる。障がい者用駐車スペースに屋根がないため、雨天時の乗り降りの際に雨にぬれるとの市民の声があり、令和4年度に設計委託を行うこととなった。令和5年度は設計をもとに屋根の設置を実施し、バリアフリー化に務める。</p>
-----------------------	--

■予算要望の方向性(PLAN)

1

<p>評価・改善事項等を踏まえた要望内容</p>	<p>金額ではなく、考え方を記載してください。</p> <p>【屋根・外壁改修工事】令和4年度は令和3年度に完了した設計により、改修工事を実施し、屋根外壁改修工事を完了する。</p> <p>【障がい者用駐車スペース屋根設置工事設計】図書館利用に障害のある方の利便性を高め、バリアフリー化をすすめるため、令和4年度に設計委託を実施。設計により算出された概算金額を、令和5年度の設置工事実施のために予算を確保する。</p>
--------------------------	---